

子ども防災キャンプ

6月18日(土)に、田ノ口小学校で「子ども防災キャンプ」がありました。

やり方は、全校が7つの縦割り班に分かれ、そこに、家族や地域の方々を加わってグループを作り、11のブースを体験、学習をしながら回っていききました。また、炊き出し訓練もありました。

起震車では、毎年体験をしているけれど、改めて地震のこわさを実感しました。降雨体験では、1時間に180ミリという雨を体験しました。人がしゃべっている声などは全く聞こえず、これが土砂崩れの原因なんだなとわかるほどすごかったです。

防災キャンプを通して、地震や津波だけでなく、さまざまな災害について学ぶことができました。災害はいつ起こるかわからないけれど、被害を防ぐことはできます。だから、さらに防災学習を進め、自分の命を守る方法を考えていくことが大事だと思えました。自分の命も家族の命も必ず守りたいです。



(田ノ口小学校 6年 徳広愛実)

佐賀小夏祭り

7月10日の日曜日に、夏祭りがありました。わたしは、ゆかたを着ていききました。

最初は、あいさつのあと、歌や新佐賀音頭をおどりました。次は自由時間で、友だちといっしょに買い物をしました。ポテトとやきそばとかき氷を食べました。かき氷が1番おいしかったです。

自由時間が終わると、ラムネの早飲みがありました。5年生は男の子6人が出ました。1分もかかってなかった人もいてみんなすごかったです。くじ引きも引きました。わたしは今年も当たりませんでした。

そのあとおばけやしきに友だち3人でいきました。楽しかったです。最後に、花火をもらってうれしかったです。毎年あるこのお祭りは、お父さんやお母さんが準備をしてくれています。いつもありがとうございます。



(佐賀小学校 5年 西村仁弥)

いごっそうアクアスロン

7月3日のいごっそうアクアスロン大会にボランティアとして大方中学校元気が参加しました。当日は、雲ひとつない晴天で選手の気迫もすごく伝わってきました。私は、給水の係りを担当し、泳いで疲れている人に水分を配り、声をかけました。走っていく人を見てみると最初は小さかった声も自然に大きくなりました。それは、選手を応援したいという気持ちから自然とそうになりました。

一人一人が自分の目標タイムを達成できるように努力して、それをサポートする立場に立ってみると、人のためになることが素晴らしいことだと改めて学び、応援はすごくエネルギーになることも学びました。

今回のボランティアで学んだことを、学校生活で人を応援したり、自分の目標を達成するため努力したりという形で活かしていきたいです。



(大方中学校 3年 松本楓華)